プレスリリース

報道関係者各位

2018 年 12 月 4 日
慶應義塾大学 SFC 研究所

農業 4.0 に向けた農業×テクノロジーのソリューションの共創を促進
―12 月 11 日（火）にアグリテックフォーラム「アグリライフハック 2018」を開催―

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス SFC 研究所（所長：田中浩也　以下、SFC 研究所）は、農業の競争力強化や農業者の所得向上を実現するため、農業のスマート化ならびに社会システムへの適用を目的とした活動を長らく行なってきました。

このたび、農業のスマート化をより加速させるために、農業データ連携基盤協議会、株式会社 電通との共催、農林水産省の後援により 12 月 11 日（火）に農業×テクノロジーによる農業ソリューションの共創を促進するためのフォーラム「アグリライフハック 2018」をベルサール御成門タワーにて開催いたします。ぜひご取材ください。

【開催概要】
「アグリライフハック 2018」では、スマートフードチェーンによる可能性や地域ブランドの優位性と国産ブランドの海外進出の関係性など、これからの日本農業の展望や課題を把握するとともに、国内外のショーケースのプレゼンテーションなど、新しい農業ソリューションの共創につながるプログラムを予定しています。

日時：　2018 年 12 月 11 日（火）15：00～（開場 14:30 ～）
場所：　ベルサール御成門タワー（東京都港区芝公園 1-1-1 住友不動産御成門タワー3F・4F）
定員：　400 名程度
参加申込：　アグリライフハック 2018 Web サイト（下記ご参照）よりお申込み下さい。
http://agri-lifehack.com/

【プログラム：案】
＜第一部＞
1. Opening
2. Keynote
- WAGRI が切り開く未来
- スマートフードチェーンの構築 ～Ⅱ期 SIP スマートフードチェーンコンソーシアムの取り組み～
- スマート農業加速化実証プロジェクトについて

3. Agritech showcase presentation
- 農業を中心に起こすオープンイノベーション ～先端農業推進拠点「AOI-PARC」が目指すもの～
- フードサプライチェーンにおけるデジタル改革の実現に向けて
- 日本発のゲノム編集技術による農業産業革新について

4. Exhibition
- 【酪農学園大学付属 とわの森三愛高等学校 農業クラブのみなさま】「TOWArd 酪農特化型農業クラブ」～会則改正から始まる私達の三愛 「躍進」First Stage～
- 【大阪府立農芸高等学校 農業クラブ・知財開発研究同好会のみなさま】学校・地域・社会のリソースを活用した産学官連携による商品開発と将来展望

5. Special presentation

※内容は予告なく変更する可能性がございます。ご了承ください。

＜第二部＞
ネットワーキング

【これまでの取組み】
我が国の農業の競争力強化や農業者の所得向上を実現するためには、データ活用型の農業を展開していくことが不可欠です。それを踏まえ、SFC 研究所では、農業 IT 分野の産学連携を目的にアグリプラットフォームコンソーシアムによる「全国農業高校・農業大学校ホームページコンテスト」を開催しました。さらに、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）「次世代農林水産業創造技術」の支援を受け、環境情報学部 教授 神成淳司が中心となって、SIP 研究コンソーシアム参画機関とともに、データ活用型農業を実現する『農業データ連携基盤』の構築を始めとした社会インフラの構築に取り組んでいます。

※本プレスリリースは、新聞各社社会部等に配信しております。

【本件についてのお問合せ先】
慶應義塾大学環境情報学部 神成淳司研究室
kaminari-core@sfc.keio.ac.jp
【配信元】
慶應義塾大学　湘南藤沢事務室　学術研究支援担当
E-mail: kri-pr@sfc.keio.ac.jp
ＴＥＬ：0466-49-3436
ＦＡＸ：0466-49-3594